

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、此の度、別掲の項目につきまして本年4月より報告基準等を変更させていただくことに致しましたので、取り急ぎご案内申し上げます。また、既にご案内を差し上げた検査内容変更におきまして血液凝固関連検査の検査方法を「ラテックス凝集比濁法」と記載致しましたが、これを「LPIA」に改めさせていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

検査内容変更項目

- 別掲の一覧表をご参照下さい。

実施期日

- 平成19年4月2日(月)受付日分より

検査内容変更一覧

コード	検査項目名	変更内容	新	旧	備考
7934	プロトロンビン時間	緊急報告基準	秒数 30秒以上	秒数 25秒以上	
0973	アルドステロン	報告上限値	∞	1,600 pg/ml	報告上限値の廃止
0560	血中FDP	検査方法	LPIA	ラテックス凝集比濁法(LA)	検査方法名の適正化 (案内の訂正)
0582	尿中FDP	検査方法	LPIA	ラテックス凝集比濁法(LA)	
0561	アンチトロンビンⅢ《定量》	検査方法	LPIA	ラテックス凝集比濁法(LA)	
0114	総酸性フォスファターゼ	所要日数	1～2日	1～3日	
0106	前立腺性酸性フォスファターゼ	所要日数	1～2日	1～3日	
3688	膵アミラーゼ	所要日数	1～2日	1～3日	
3610	1,5-アンヒドログルシトール(1,5-AG)	所要日数	1～2日	1～3日	
0270	総胆汁酸(TBA)	所要日数	1～2日	1～3日	
2591	リポ蛋白(a) [LP(a)]	所要日数	1～2日	1～3日	
0732	アポ蛋白 A-I	所要日数	1～2日	1～3日	
0733	アポ蛋白 A-II	所要日数	1～2日	1～3日	
0734	アポ蛋白 B	所要日数	1～2日	1～3日	
0735	アポ蛋白 C-II	所要日数	1～2日	1～3日	
0736	アポ蛋白 C-III	所要日数	1～2日	1～3日	
0737	アポ蛋白 E	所要日数	1～2日	1～3日	
0235	IgG	所要日数	1～2日	1～3日	
0234	IgA	所要日数	1～2日	1～3日	
0236	IgM	所要日数	1～2日	1～3日	
0249	C3(β ₁ C/β ₁ Aグロブリン)	所要日数	1～2日	1～3日	
0250	C4(β ₁ Eグロブリン)	所要日数	1～2日	1～3日	
3606	リウマチ因子定量	所要日数	1～2日	1～3日	